

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成24年12月6日 (2012.12.6)

【公開番号】特開2011-209191(P2011-209191A)
 【公開日】平成23年10月20日 (2011.10.20)
 【年通号数】公開・登録公報2011-042
 【出願番号】特願2010-78629(P2010-78629)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 31/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 31/00 S

G 0 1 N 31/00 T

G 0 1 N 31/00 Y

【手続補正書】
 【提出日】平成24年10月23日 (2012.10.23)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

金属酸化物粉末に、未反応金属と反応して水素ガスを発生するアルカリである水素生成剤を反応させる水素生成工程を有することを特徴とする金属酸化物粉末の製造方法。

【請求項 2】

金属酸化物粉末に、未反応金属と反応して水素ガスを発生する水素生成剤を反応させる水素生成工程と、

発生した水素ガスを定量し、前記未反応金属の量を算出する定量工程と、

を有することを特徴とする金属酸化物粉末の製造方法。

【請求項 3】

前記金属酸化物粉末は酸化アルミニウムであり、前記未反応金属は金属アルミニウムである請求項 1 又は 2 に記載の金属酸化物粉末の製造方法。

【請求項 4】

前記水素生成剤はアルカリ金属又はアルカリ土類金属の水酸化物である請求項 2 又は 3 に記載の金属酸化物粉末の製造方法。

【請求項 5】

前記金属酸化物粉末は酸素含有雰囲気中に金属粉末を投入して前記金属粉末を酸化燃焼させて製造されたものである請求項 1 ～ 4 の何れか 1 項に記載の金属酸化物粉末の製造方法。